



前川原 正人 議員

新型コロナウイルス感染症の第2波に備えるべき

問 感染症の教訓は「自粛と補償」であった。いつ収束するのかわからない状況で、市の経済を立て直し市民が希望を持てる対応を示すべきではないか。

答 感染拡大の第2波、第3波も懸念される。感染防止対策を講じながら、国県の対策を注視し、消費の喚起や事業支援など検討していく。

子どもたちの学びの補償を

問 感染症により、各学校が臨時休業した。学習の遅れや子どもたちのストレスなどの改善策が必要ではないか。

その他の質問
・国保問題について



詳しくはこちら



植山 利博 議員

国道223号の整備事業に合わせて雨水排水対策事業の推進を

問 国道223号のバリアフリー化の整備事業と同時に、見次周辺から国道10号付近までの雨水排水対策事業の推進を図るべきではないか。

答 県は当該国道の歩道のバリアフリー化に向けて測量や設計を進めている。国道の歩道整備と併せて浸水被害対策を講じることができないか、県と協議する。

霧島市立医師会医療センター建設工事は可能な限り地元発注を

問 医療センター建設工事は、市内業者の健全育成、雇用拡大、経済波及効果を鑑み、より多くの市内業者が受注機会に恵まれるように配慮をすべ

その他の質問
・新たな清掃センター整備及び伊佐北始良環境管理組合からの脱退について
・新型コロナウイルス感染症に係る経済対策について



詳しくはこちら



木野田 誠 議員

メガソーラー建設は反対である

問 霧島田口に予定しているメガソーラー建設について、昨年の質問において市は反対であると表明したが、現在もその立場に変わりはないか。

答 建設経過を巡っては、自然災害が多発している状況のなか、住民の生活環境、霧島山の自然環境、霧島神宮などが妨ぐ歴史文化等が形成する景観などに及ぼす影響は甚大であることから、市の立場は変わることなく反対の立場である。また、建設に必要な市道の払い下げなどに協力する考えはなく、今後、市がとれる対策をとっていく。



池田 綱雄 議員

医療センターの現状は

問 新型コロナウイルスなど感染症の指定医療機関は県内で何カ所か。また、医師会医療センターの感染症病室は何室か。

答 県内の感染症指定医療機関は13機関で、医師会医療センターにおける感染症病床は4床である。

問 胃や大腸検査の下剤服用を内視鏡控室で行っている。部屋は狭く、トイレの数も少ないが、改善策はないか。

答 同じ時間に下剤を服用することから、トイレの使用が重なり足りない場合は、近くのトイレを案内することで対応している。



宮田 竜二 議員

新たな都市計画でまちの活性化を

問 安全で快適な道路環境の提供、地域情報発信、広域交流の増大を図るため、道の駅の設置を検討するとあるが、どのように進めていく考えか。

答 設置場所などさまざまな観点から検討を行う必要がある。先進事例に関する情報収集などを含

問 GIGAスクール構想の事業概要と市の実現ロードマップを示してほしい。

答 本構想は、国が令和元年度からソサエティ5.0という新たな時代を担う人材育成にふさわしい学習環境を整備することを目的としたものである。災害等による学校の臨時休業時でも、ICTの活用により子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現させるため、一人1台端末の整備を令和2年度で完了する予定であり、端末は県の共同調達で、8月に選定予定としている。

問 自宅での端末を活用した学習の可能性と、長期休業の場合の学習方法の計画はあるのか。

答 国のガイドラインによると、感染拡大警戒地域以外は、全学校が一律に臨時休業する必要はない。端末の活用は通信環境等の課題も多く現時点では難しい状況だ。健康や学習状況の確認は従来どおり電話や家庭訪問を行うほか、可能な範囲でビデオ通信アプリを使った取組を進めたい。



詳しくはこちら



答 県や国、高速道路事業者等の機関と協議、検討を行い、調査・研究していく。



詳しくはこちら



平原 志保 議員

GIGAスクール構想と新型コロナウイルス再流行の際の自宅学習の可能性は